

ステレオパワーアンプ

TRX-P88S

取扱説明書



TRIODE

株式会社トライオード

〒343-0032 埼玉県越谷市袋山 609-3

TEL:048-940-3852 / FAX:048-940-3853

Eメール: service@triode.co.jp

本機は一般家庭用オーディオ機器として作られたものです。一般家庭用以外（たとえば飲食店等でのBGMなど営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用、野外での使用など）に使用しないでください。一般家庭用以外の使用で故障した場合は、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

不明点やご質問等は当社ユーザーサポート係宛て、下記時間内にお問合せください。

ユーザーサポート受付時間：月～金曜日 TEL 10:00～16:00(休業日を除く)

2019年3月 Ver. 1.2

この度はトライオード製品をお買い求めいただきまして誠に有難うございます。本機の機能を十分にお楽しみいただく為にも、ご使用前に本書を良くお読みいただき、正しくご使用ください。また、「安全上のご注意」は必ずお読みください。
また、本書は保証書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意



警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると火災や感電による重大な人身事故の原因となります。

- ・絶対に裏蓋を開けないでください。故障や感電の原因となります。特に本機は内部に高電圧を使用しています。内部接触による人体の損傷や火傷などの責任は負いかねます。
- ・万が一、以下の様な異常が生じた場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災や感電の原因となりますので直ちに弊社へ修理をご依頼ください。電源プラグを容易にコンセントから抜くことができるように設置してください。
 - ・煙が出たり異臭がする
 - ・落としたり、本体を破損した
 - ・本機の内部に水(その他の液体)や異物が入った
- ・必ず接地接続を行ってください。
- ・接地接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・本機を交流(AC)100V 以外の電源で使用しないでください。それ以外の電源電圧や船舶等の直流(DC)電源には直接接続しないでください。故障や火災、感電の原因となります。
- ・電源ケーブルを傷つけないでください。(重い物の下敷きになる/無理にねじ曲げたり引っ張ったりする/加工する/加熱する) 電源コードが破損(芯線が露出、断線)すると火災や感電の原因となります。また、電源プラグにホコリがたまらない様にしてください。プラグとコンセントの間にホコリがたまると火災や感電の原因となります。定期的にプラグをコンセントから抜いてホコリを取り除いてください。
- ・以下の内容をお守りください。内容に反したご使用をされると火災や感電、火傷の原因となります。
 - ・本機の上や周囲に花瓶や水などが入った容器を置かない
 - ・本機の上に火のついたローソクなど裸火を置かない
 - ・本機を改造しない
 - ・本機の放熱を妨げないように周囲に十分な空間を確保する
 - ・本機に新聞、テーブルクロス、カーテンなど放熱を妨げるものをかぶせない



注意

以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると感電やその他の事故により怪我や物的損害の原因となります。

- ・ふらついたり傾いた所などの不安定な場所や、水滴又は飛沫がかかる場所、湿気やホコリの多い場所、調理器具や加湿器等の油煙や湯気が当たる場所に設置しないでください。落下等により怪我や発煙、発火の原因になります。
- ・電源ケーブルは以下の様な取扱いはしないでください。破損による感電や発火の原因になります。
 - ・プラグを抜く時にケーブルを引っ張る
 - ・ぬれた手でプラグを抜き差しする
 - ・熱器具のそばに近づけて設置する
- ・ヒューズは必ず規定の物をお使いください。規定を越える値(アンペア数)を使用すると火災や事故の原因となります。
- ・長期間ご使用にならない時は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。また移動やお手入れの時は、電源を切り真空管が冷えてから電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ・電源を入れる時は音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害の原因になる事があります。また、ご使用時は適切な音量でご鑑賞ください。長時間大音量でお聴きになると聴力障害の原因となります。
- ・付属の電源ケーブルは本機専用です。他の機器では使用できません。

I 付属品

本機の梱包箱を平らな場所に置き、天面から開封し、注意しながら製品を取出してください。

本体及び付属品は下記のとおりです。ご確認ください。

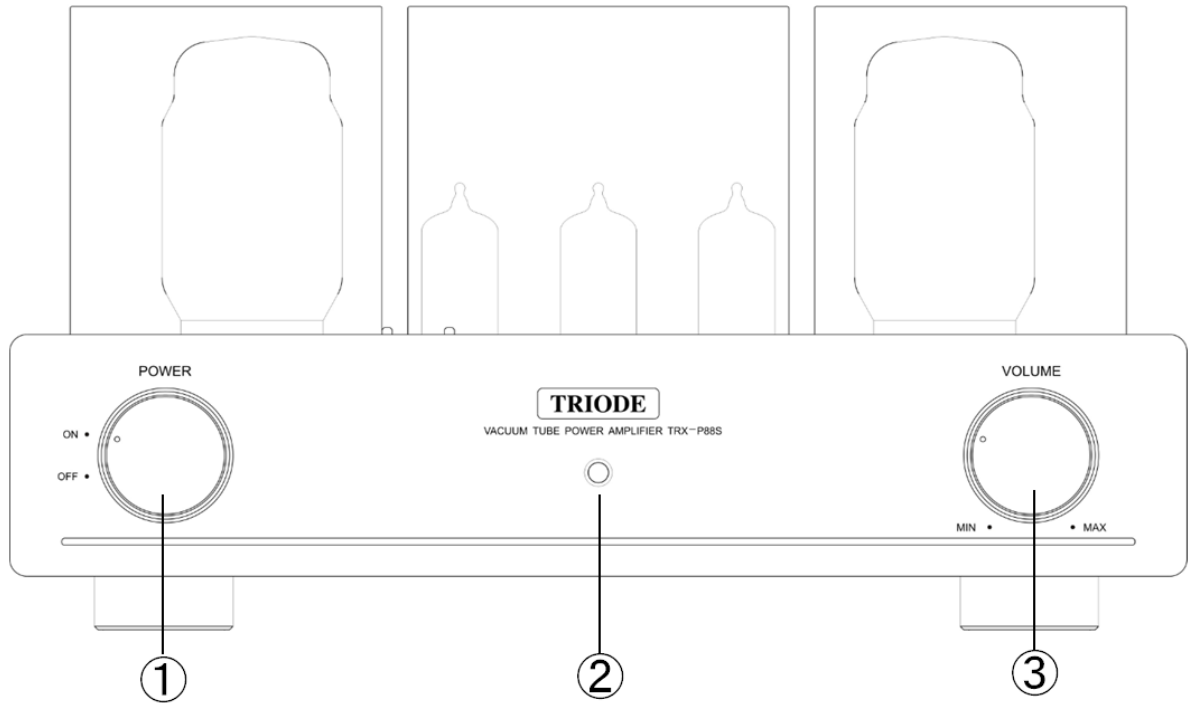
- ① TRX-P88S 本体 × 1
- ② AC100V 用電源ケーブル × 1
- ③ 取扱説明書(本書) × 1
- ④ 保証書 × 1

※保証書には必要事項を記入し、大切に保管してください。

※梱包箱、梱包材は、今後の輸送の際に役立ちますので、保管されることをお勧めします。

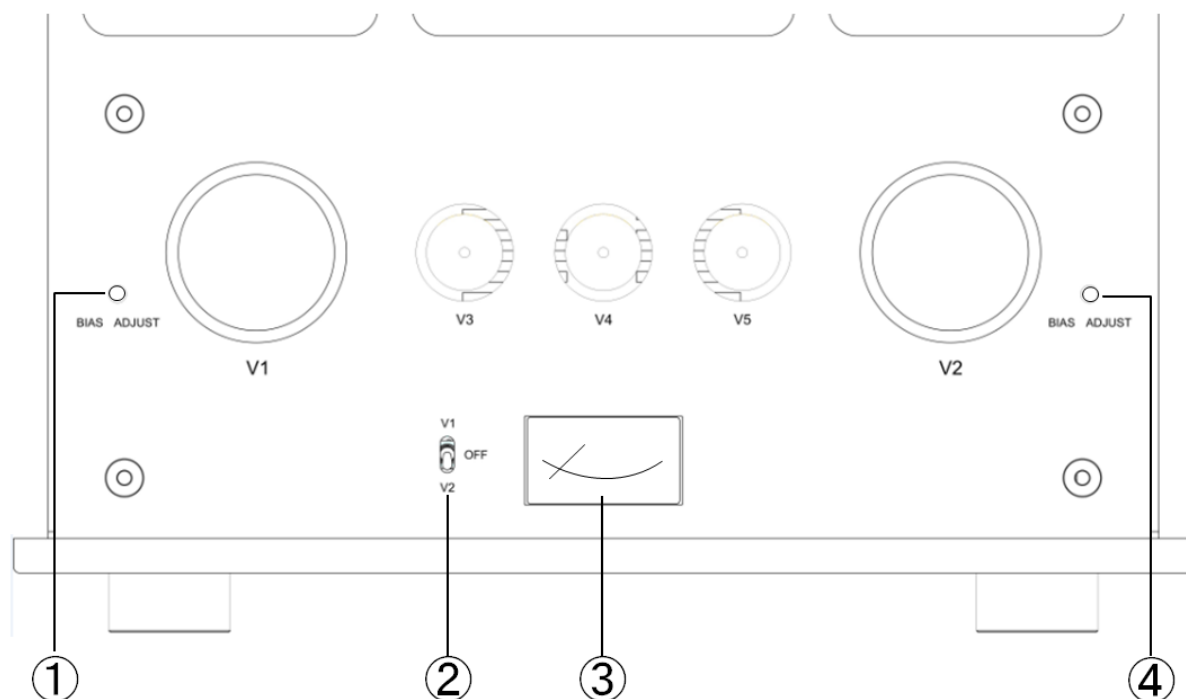
II 各部の名称と働き

フロントパネル部



- ① 電源スイッチ：右に回すと電源が入り（ON）、左に回すと電源が切れます（OFF）。
- ② 電源表示 LED：電源が ON の時に点灯します。
- ③ 音量調整ボリューム：音量を調整します。
※パワーダイレクトスイッチが OFF の時のみ音量調整が可能です。

シャーシ天面部



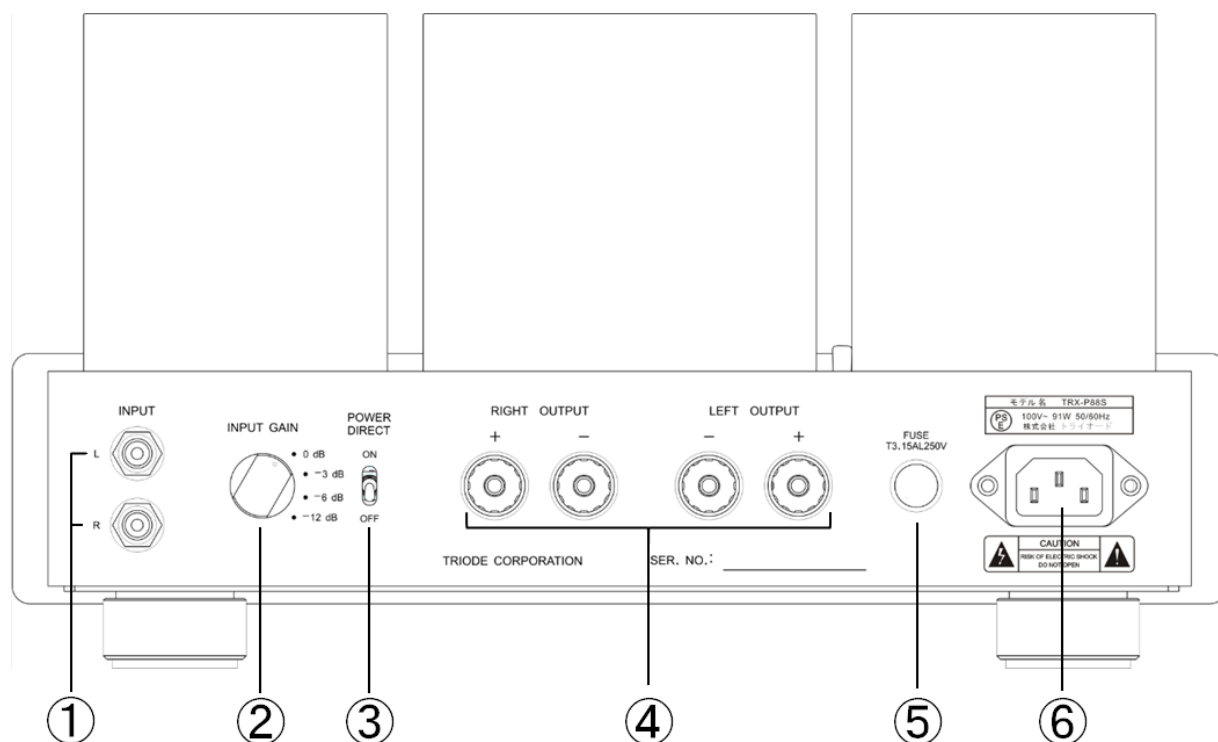
- ① 真空管 V1（左チャンネル用 KT88）バイアス調整ボリューム
②のバイアスセレクトターを V1 側に倒しバイアス電流がメーターに表示された状態で、ドライバーを使ってボリュームを回し、バイアスマーターの針が黒いライン上の 3 個の黒印の中央に合うように調整します。回すときに力を入れ過ぎないようにご注意ください。



- ② バイアスセレクトター
V1 側に倒すとバイアスマーターに V1（左チャンネル用 KT88）のバイアス電流が表示されます。V2 側に倒すとバイアスマーターに V2（右チャンネル用 KT88）のバイアス電流が表示されます。バイアス調整時以外は OFF の状態にしてください。
- ③ バイアスマーター：
②のバイアスセレクトターで選んだ V1 または V2 のバイアス電流を表示します。
- ④ 真空管 V2（右チャンネル用 KT88）バイアス調整ボリューム
②のバイアスセレクトターを V2 側に倒しバイアス電流がメーターに表示された状態で、ドライバーを使ってボリュームを回し、バイアスマーターの針が黒いライン上の 3 個の黒印の中央に合うように調整します。。回すときに力を入れ過ぎないようにご注意ください。

※バイアス調整は年に 1 回程度、あるいは真空管交換時に行ってください。頻繁に行う必要はありません。

リアパネル部



- ① 入力端子：プリアンプの出力を接続します。
- ② ゲイン切換：アンプの増幅度を切り換えます。
入力信号レベルが大きい場合に、-3dB、-6dB、-12dB のレベル調整が可能です。
- ③ パワーダイレクトスイッチ：ON にすると音量調整ボリュームをパスし、入力信号が直接パワーアンプ部に入ります。OFF にすると音量調整ボリュームで音量調整ができます。

注意：ON にすると音量調整ボリュームが最大の時と同じ大きな音量の音が出ます。

- ④ スピーカー出力端子：スピーカーケーブルを接続します。右チャンネルを **RIGHT** 側に左チャンネルを **LEFT** 側に接続します。スピーカーの-（マイナス）側を-端子に、+（プラス）側を+端子に接続します。
- ⑤ ヒューズホルダー：内部にヒューズが装着されています。
- ⑥ AC100V 電源インレット：付属の AC100V 用電源ケーブルを接続します。

Ⅲ 接続

機器の接続を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源ケーブルを電源コンセントから抜いてください。

- ① 入力端子にプリアンプの出力からのケーブルを接続します。右チャンネル、左チャンネルの間違いが無いようにご注意ください。
- ② スピーカー出力端子にスピーカーケーブルを接続します。
(ア)右チャンネルを **RIGHT** 側に左チャンネルを **LEFT** 側に接続します。
(イ)スピーカーの-(マイナス)側 を-端子に、+(プラス)側を+端子に接続します。
- ③ AC100V 電源インレットに付属の AC100V 用電源ケーブルを差し込みます。
電源プラグの電源コンセントへの接続は全ての接続が完了してから、最後に接続してください。
- ④ 電源スイッチが OFF になっていることを確認してから、電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

Ⅳ 操作方法

1. パワーダイレクトスイッチ ON の場合

- ① 電源を入れる
電源スイッチを押し ON にします。電源表示 LED が点灯します。
注意：ON にする前に、プリアンプの音量調整ボリュームが最小になっていることを確認してください。ON にした直後は動作が安定するまで30秒程度の時間が必要です。

注意：音量調整ボリュームは働きません。音量はプリアンプの音量調整ボリュームで調整してください。

2. パワーダイレクトスイッチ OFF の場合

- ① 電源を入れる
電源スイッチを押し ON にします。電源表示 LED が点灯します。
注意：ON にする前に、本機の音量調整ボリュームが最小になっていることを確認してください。ON にした直後は動作が安定するまで30秒程度の時間が必要です。
- ② 音量の調整
音量調整ボリュームでお好みの音量に調整します。

V 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下記を調べてみてください。故障ではなく解決する場合があります。また、本機以外に原因がある場合もあります。ご使用の他の機器も合わせてお調べください。下記の項目を調べても直らない場合は弊社サービス部門にご連絡ください。

症状	原因	対策
電源が入らない。	・電源ケーブルが抜けている	・電源ケーブルを電源コンセント、電源インレットに正しく差し込んでください。
音が出ない	・入力端子のケーブルが端子から外れている。 ・スピーカー端子からスピーカーケーブルが外れている	・正しく、確実に接続してください。

VI ヒューズの交換方法

ヒューズが切れた場合は故障など切れた原因があります。交換前に弊社サービス部門にご連絡ください。

もしヒューズ交換をする場合には、ヒューズホルダーを反時計回りに回しヒューズホルダーを取り外し、ヒューズを交換してください。ヒューズは 250V(または 125V)タイムラグ型 T3.15A を使用してください。ヒューズをヒューズホルダーに取り付いたら、元通りに本体に装着してください。



ヒューズホルダー



本体から外したところ



ヒューズとヒューズホルダー

VII 保証について

製品は厳密な検査を経て出荷されておりますが、正常な使用状態で故障が発生した場合は、保証規定により無償で修理させていただきます。

1. 保証書による保証は、保証書に記載のあるお客様に対してのみ適用されます。
2. 保証期間はご購入日より保証書に記載の期間内です。
3. 保証期間内の正常な使用状態において、故障が発生した場合には無償で修理致します。
4. 次の場合は、保証期間内でも修理は有償にて申し受けます。
 - (1) 保証書のご提示のない場合。
 - (2) 保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入がない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (3) お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷。
 - (4) お取り扱い上の不注意による故障、誤用あるいは故意の濫用による故障の場合。
 - (5) 火災、地震、風水害、雷、その他天災地変、塩害、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (6) 故障の原因が本製品以外の部分またはその他の機器によって生じた場合。
 - (7) 本製品純正品以外の真空管を使用した事による故障および損傷。
 - (8) 業務用など一般家庭用以外での使用による故障および損傷。
 - (9) お客様のご使用環境や維持・管理方法に起因して生じた故障および損傷。（例：埃、錆、カビ、虫や小動物の侵入等）
 - (10) 当社もしくは当社が委嘱した者以外の手により修理、調整、改造等が行われた場合。
 - (11) 保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理を依頼された場合。
5. 保証書は不可抗力による紛失等の場合を除き再発行いたしません。
6. 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
7. この保証は日本国内においてのみ有効です。

VIII 仕様

- 回路形式：A 級シングル
- 使用真空管：KT88×2 本、12AU7×3 本
- バイアス方式：固定バイアス
- 定格出力：10W+10W (8Ω)
- 周波数特性：19Hz～60kHz (±3dB)
- S N 比：86dB
- 入力感度：250mV
- 入力インピーダンス：100kΩ
- 入力ゲイン切り替え：0dB、-3dB、-6dB、-12dB
- 入力端子：1 系統 (RCA)
- スピーカー出力端子：1 系統 4～8Ω
- 電源／定格消費電力：AC100V／91W
- 外形寸法：横 340×奥行 320×高 188mm
- 質量：16.2kg

※製品の外観、仕様は改善のため予告なく変更することがあります。

■オプション

別売サイドウッド 左右一組 5,000 円 (税抜)

■本機補修用真空管 (2019 年 3 月現在)

KT88 1 本 8,000 円 (税抜)

JJ 製 12AU7 1 本 3,800 円 (税抜)

曙光電子製 12AU7 1 本 2,800 円 (税抜)

株式会社トライオード
〒343-0032 埼玉県越谷市袋山 609-3
TEL：048-940-3852 FAX：048-940-3853
E-mail：service@triode.co.jp